

朝倉 まちのスキマ部 Day1 開催レポート

【開催概要】

開催日時：2025 年 7 月 24 日（木）19:00～21:00

開催場所：ピーポート甘木第 3 学習室

参加人数：19 名



【内容】

- 流れ：1. 開催挨拶
2. ガイダンス
3. 自己紹介
4. 講義「小さな変化が連鎖するまちづくり」
5. 意見交換
6. 入部届提出
7. 閉会

講師：木藤 亮太氏、橋口 敏一氏（株式会社ヨンダブルディー取締役）

7 月 24 日に「朝倉 まちのスキマ部」第 1 回目を開催しました。

開催挨拶やガイダンスの後、参加者の自己紹介を行いました。朝倉市在住の方はもちろん、久留米市など他市からも参加されていました。「昔と比べて寂しくなった朝倉を昔みたいに活気のあるまちにしたい」、「まちづくりについては素人だけど、自分にできることがあるならやってみたい」等、皆さんそれぞれの思いを抱いて参加されていることが分かりました。

橋口氏の講義「小さな変化が連鎖するまちづくり」では、橋口氏が取締役を務める株式会社ヨンダブルディーでの、約 4 年間に及ぶ古賀市の取り組みについて話いただきました。

博多と北九州の中間に位置する古賀市では「ここは何もない」と話す方が多かったそうです。そんな古賀のまちを「早く帰りたくなるベッドタウン」にしたいと考えている橋口氏は、地域の方が感じる「何もない」を払拭するにはどうすればよいか考え、「“人材”という古賀市にしかない個性を醸成すること」が必要であると考えたそうです。そして古賀市の商店街で生まれ育った、ノミヤマ酒販 6 代目店主である許山氏（株式会社ヨンダブルディー取締役）をキーパーソンとして、様々な古賀市縁の人物と繋がり、古賀市のスキマとなっていた空店舗等を、内装や管理等を少しずつ手直しすることでダンススタジオやカレー屋などに再編していきました。

また、木藤氏からは「朝倉 まちのスキマ部」ということで、①空間のスキマ②人のスキマ③時間のスキマ④分野のスキマ⑤感情のスキマと、5つのスキマについてお話してい

いただきました。なかでも「スキマ＝新しいことにチャレンジできること」と、今回の事業名である“スキマ”について考える視点を示し、参加者がこれからのスキマ部の活動についてより具体的に考えるためのヒントを話されました。



講義後は5班に分かれて意見交換を行いました。講義中、皆さん真剣に話を聞かれていましたが、講義で感じた思いを熱く語り合う様子が見られました。

「今回のスキマ部参加者で朝倉を講義事例のように発展することができれば嬉しい」

「人とのつながりがまちのネットワークになり、それがまちを形づくることが分かった」

「人が集まって何かができる場が作れたらいい」

「昔は甘木のアーケード良かったなと思う。今の状況でどう商店街を盛り上げられるか」

「自分ができること、自分が楽しいと思うことを考えて、実現できたらいい」

等の意見があり、今回の講義で朝倉のまちづくりに共通する内容がみられたことが、スキマ部の今後の活動への意欲に繋がったように感じます。

閉会後も、まちづくりに関する熱い思いを語り合う場面が多くみられ、今後の「朝倉まちのスキマ部」に期待ができる初日となりました。

